

2019年1月15日 モノづくりの競争力について

※一言要約： **モノづくりの基本は「QCD」（品質・コスト・納期）！**

製造現場での競争力を測るものさしが「QCD」です。

- ・品質 (Quality) = 顧客が求める要求品質を満たすこと
- ・コスト (Cost) = 品質に見合う・納得できる価格 (他社より安い方がいい)
- ・納期 (Delivery) = 顧客が欲しい時に間に合うこと

この競争力たるQCDを高めていくには、工場での生産性の向上がカギになります。競争という意味から、平たく言えば、「他社より良いものを安く早く提供する」ということになります。

しかし、このQCDの3つの要素はお互いに影響しており、もぐらたたきのようにひとつずつの要素だけを達成していけばいいというものではありません。

例えば、品質を実現するために工数を増やした場合、コストと納期が圧迫されます。納期やコストを優先して工数を設定すると、品質がおろそかになるかもしれません。こうした要素間でのトレードオフに注意する必要があります。即ち、一つの要素の改善が、他要素の改悪になるかもと、注意を払う必要があります。

製造業の競争力ということからすると、他社が作れないもの・自社独自のものを製造することが、製造業のBestと考えられますし、自社ブランドの部品・製品がその競争力をサポートしてくれます。

即ち、開発技術力、製造技術力に独自性をもっていることが、競争力の裏付けになるとこは明白です。